

中齋塾東京フォーラム  
平成 30 年度 第 5 回塾長講話

平成 30 年 5 月 12 日  
於 湯島聖堂

おはようございます。久しぶりに吉良さんの素読を聞きました。良いですね。なにか優雅で雅という感じがします。ああいう良い調子で素読をして戴いて、その素読の解説をすると雅からだいぶ遠ざかる話になってしまうのが、ちょっと残念だなと思っています。

### 衛霊公十五

【十】顔淵 邦を為めんことを問う。子曰く、夏の時を行い、殷の輅に乗り、周の冕を服し、楽は則ち韶舞、鄭声を放ち、佞人を遠ざく。鄭声は淫に、佞人は殆しと。

【一一】子曰く、人 遠き 慮り無ければ、必ず近き憂有り。

【一二】子曰く、已んぬるかな、吾 未だ徳を好むこと色を好むが如くなる者を見ず。

【一三】子曰く、臧文仲は其れ位を窃む者か。柳下恵の賢なるを知りて、与に立たず。

「顔淵邦を為めんことを問う」顔淵は孔子の一番弟子です。一番弟子がお師匠さんに自分がどこかの国の内閣総理大臣になったら、どのようにその国を治めればよいでしょうかと質問をしました。

北朝鮮のキム・ジョンウン委員長が、父親または祖父のお墓の前で「私はどういう委員長になればよいでしょうか。どう国家を治めればよいでしょうか」と聞いて、黄泉の国から何か答えが返ってくるというふうに読んでみましょう。

知恵のある人にこういう問いかけをすれば、それなりに知恵が返ってくるけれども、今の北朝鮮の指導者は亡くなった人にしか、そういう問いかけが出来ないのであると思います。中国の習近平さんに会っても、仮にプーチンさんに会っても、みな自分の思惑で相手を動かそうという考えが透けて見えるから、虚心坦懐に相手の言うことを聞くなどということとはちょっと無いだろうなと感じます。で、虚心坦懐に人の話を聞くというところで今日の紹介書籍をちょっとしておきます。

### 紹介書籍

『盛大な人生』中村天風述 日本経営合理化協会

『錬身抄』中村天風 公益財団法人 天風会

『盛大な人生』と『錬身抄』と書いてあります。考えてみたら、この紹介の書籍どちらも結構難しい。面倒なので変えました。前にも御紹介している『けちのすすめ』少欲知足がとても分かりやすく書いています。欲張りなさんなということですが、今あるがままを生きるがよい。

昨夜、「変なホテル」に泊まりました。そのホテルのパンフレットはありませんでした。変なホテルの宣伝みたいになるけれども、陽明学は興味を持ったなら、気になったらすぐ現地へ行くこと。くれぐれも新聞やネットを見て、それでよしとしないで現場に行って、その人に話を聞いて自分なりの体験をすることが陽明学のベースだと申し上げています。それで「変なホテル」が4月27日にオープンをしたと聞いて、その場ですぐ予約をしてもらいました。朝食付きということで頼んだのですが、今朝の朝食は大変少なかったです。小さめのコッペパンがひとつに大きなソーセージが1本乗っている。それで終わり。「トッピングがあります」と言われて見に行ったら、ピクルスみたいな物がちょろちょろとあるだけ。それでコーヒーや水は飲み放題ですと言われたって、そんなに飲めるかい。あとはスープがちょびっと付いてきた。朝ごはんを食べたのに、お腹が減っている。

以前、人に紹介されて京都の旅館に泊まったのですが、藪蚊の多い旅館だった。藪蚊が部屋にいっぱいいるから「蚊取り線香が欲しい」と言ったら「ございません」と言われたので、しょうがないからタクシー呼んで、京都の町中まで蚊取り線香を買いに行った記憶があります。まあ酷い所でした。アンケートがあったから、女将からは是非来て欲しいということで家族揃って来たけれどもとても残念でした、と書いておいたけれども返事もないし、何の音沙汰もない。あとでその女将に会ったけれども何の挨拶もない。「行きましたよ」と言ったら「ああそうですか」と。あんなに一所懸命に勧誘してくれたのにどうしたことなのかと、お客が腹立って帰ったということを知らなふりしたのかなと思いました。その後その旅館はなくなりました。それでも良かったなと思うことは日本語は通じた。人間がいたので、お喋りができた。ところが昨日チェックインしたホテルは、ロボットが立っているだけ。ロボットの真中にタッチパネルがある。それでロボットのタッチパネルの前に立っていたら「いらっしゃいませ」と声を出して「お名前を教えてください。または画面に触って自分の名前を入力してください」と。自分の名前を言ったら画面がぱっと変わって「ご予約有難うございました。下記の順序に従ってチェックインの手続きをお願いします」とくるから、自分の氏名、住所、生年月日を入れていたら、サインをしてくださいとあるのでサインを書きました。はたと困ったのが自分の生年月日を昭和から入れようと思ったら出ない。西暦で入れなさいという注釈もないが進まないの、自分の生年月日の西暦を調べて入れたら画面が変わって手続き終了となりました。料金を済ませると「しばらくお待ちください」と出たので、待っていたら画面に「お部屋は何番です。朝食付きです」と出て「朝食カードはございませんので、レストランの人間に教えてください」それだけ頭に入れて部屋に入りました。寝る時に明日何時から食事だったかなと思ったので、

部屋にそういう紙を探したけど紙が皆無。あったのが無料のスマホが置いてある。これで何でも分かりますからご自由にお使いくださいとあるから、一応その無料スマホを使いましたけど途中で止まって終わり。今までの経験からいって、ホテルは浜松町にありましたから、浜松町は勤め人が多いので朝 6 時 30 分から食事だろうと思って朝 6 時 30 分に行ったら開いていました。ロボットがいるだろうと思ったらロボットはいなかった。ということで、さっきの京都の旅館は人が応対してくれたから、まだそれでも言葉が通じたし、アンケート用紙があったから紙に書いて自分の意思を伝えたいけれども、変なホテルは紙が一切ない。置いてあるのはスマホだけ。これでどうやって年寄りに対応するのかと思いましたが、もう完全にそういう時代に入ったんだなという気がしました。

会員—お値段というのは高いのでしょうか。

高い。あれは無茶苦茶ですね。私の実感はべらぼうにコストカットしている。普通の建設費の半値以下でつくったなと思った。普通に出せば 7 千円～8 千円の宿代だと思った。宿代 1 万 6 千円でした。部屋に入ったらベッドしかない。ベッドと壁の間があるかないかぐらいの隙間。カニさん歩きで狭い。まあよくこれだけ狭い所に無理やりベッドをいれたなと思いました。これは荒稼ぎだと思いました。

会員—珍しいうちだけ稼いで、後は値段を下げる。

あれは下げない。売り飛ばすね。変なホテルについては、また後でお話しします。

**「顔淵邦を為めんことを問う」**の話からちょっと脱線をしますけれど、今の時代でいえばアメリカはトランプさん、どう国家を治めているか。ロシアのプーチンさんはどうやるのか。中国の習近平さんはどうやるの。日本の安倍さんは、どうやるの。韓国は、北朝鮮は、EU はと、それぞれ考えてここを置き換えて見ればよい。

日本の場合は、過去の日本の歴史を調べて自分の波長の合った歴史から時代を選んでその時の政治を司った人間が、どういう事を考えてどういう事をやったかを調べればよいだろうと思う。それぞれの国が今の指導者はどういう仕組みでトップに躍り出てきたのか。例えばヒトラーは前の人だけれども、たぶん同じような人が出てくる時には、同じような形で出てくるのであろうという気がします。今の各国のトップが変わる有様はヒトラー型の人が出てくる危険性を孕んでいる状況だと私は思っています。少数政党が耳障りのよいことを言って、どんどん世の中に出てきて一気にヒトラーが出現したということです。それと照らし合わせて見ればよい。

それで論語は、孔子が全部にゴマを擦っているなという気がします。顔淵だったら、それぞれの王朝の良いところを見るであろう。だからこころへんに氣をつけてごらんなさい

という話をしたのだと思います。農業型の国であれば「夏の時を行い」夏王朝の暦は良いから農作を進める上において夏王朝の暦法をお使いなさい。それから政権を取り質素堅実に行う場合には、大きな馬車に君主が率先して質素で堅実なスタイルを世の中に見せるべき。「輅」は木製の大きな馬車で飾りはありません。ですから君主は飾りのない馬車に乗るということで率先垂範をすればよい。礼儀作法であれば周という時代の儀礼用の冠「冕」という冠を使えばよろしい。音楽については舜帝を案内すればよい。ただ、気をつけなければならないのは「鄭声を放ち」鄭国の音楽はとても妖美で淫乱だからそういう音楽は駄目だよと。これ北朝鮮が世界各国の淫らな音楽を持ち込むのは良くないということで、見聞きした物は北朝鮮に帰ったら絶対話してはいけないとあります。話したら極刑みたいなものがあるので同じ様な話ですね。「佞人を遠ざく」へつらって、おべっかいばかり言う人は登用してはいけない。「鄭声は淫に佞人は殆しと」日本は淫らな物ばかりで、テレビも新聞も淫らな話ばかりしていますね。おかしい国です。嘘、偽り、おべんちゃら、推奨、忖度。忖度もそういう言葉になってしまうなという状況だと、ここは見ればよろしいでしょう。

「子曰く、人遠き慮り無ければ、必ず近き憂い有り」これはもう今回の北朝鮮とアメリカの首脳会談そのものです。どれぐらい先のことまで考えているかということだと思います。

木村凡先生が、アメリカの歴代大統領はソ連のトップと会えば、必ずアメリカとソ連の間柄は良くすることができるかと信じて、ちょっかいを出したが最後はしっぺ返しをくらって思うようにいかない。共産主義、全体主義に対して各国トップは同じことを繰り返すという話をしています。今回もその轍を踏むのではないかと感じます。

安倍さんがトランプさんに似たような話をしたということが今日の新聞に出ていました。先々の計画、先々への配慮がなければ目先のことは失敗してしまう。今は一所懸命に北朝鮮がトランプさんに媚びへつらう動きをしていますから、それに乗っかってトランプさんが出て来つつあるという状況を感じます。

どちらがどれだけ先を思っているのかということの「子曰く臧文仲は其れ位を窃む者か。柳下恵の賢なるを知りて、与に立たず」今日の麻生さんみたいなものです。孔子が言うには、臧文仲を麻生さんで見ると、「麻生副総理は其れ位を窃む者か」と読めば、周りを見渡して自分と同等の力量の人物、自分を超越する人物が今の政治家の中にいるだろうと考えて探さないじゃないかと。俺のほうが偉いと思っているから、人の言うことは全く耳に入らない。自分が偉い、自分が素晴らしいと思うと周りを見る目が無くなってしまふ。

臧文仲が柳下恵という賢者で素晴らしい人物を知っているのに君主に推薦しない。良い人間を部下で発見したけれども推薦しない。推薦すると自分が追い落とされるからと思ってしまう。こういう事はしてはいけないと孔子が言っています。麻生さんは何で自分と同じぐらいの力量の人間または優れていると思う人を推薦して、副総理に据えないのだろうと思います。

もう一冊回しておきます。この間、西谷さんから『新聞社崩壊』という本を戴いて三回読み直しをしました。感想としては、客観的によく書いてある。それでよく思い切って『新聞社崩壊』というタイトルをつけたなと思います。中身は客観的な事実で新聞社がこのままだと潰れる。で、潰れたほうがいい。潰れたら、そこからまた這い上がって、紙のない新聞社を立ち上げるにはどうしたら良いかと書いてある。これは読んでもらったほうが良いなと思いました。私は新聞を攻撃するけれども、客観的によく書くなと思いましたので御紹介します。

さてお立ちあいだ。次の時事評論は新聞です。昨夜ホテルに泊まりましたら、無料の新聞がなかった。それで朝日新聞と産経新聞を買いました。お金を出して買ったのは朝日 150 円、産経 110 円。ところがこれ定価はついてない。新聞一面から見て、どこにも値段が書いてない。書いてない理由は何だろうと思って聞こうと思っていました。なぜ書かないのでしょうか。

会員一セットで売るという感覚が…

ああじゃあやっぱり印象が違うね。私が思ったことは、値段は地域によって勝手に決めてよいという自由裁量性みたいなものが若干あるのではないかな…

会員一それは絶対ありません。

今の話は、新聞の定価販売は認められている。でも日本の中の仕組みとしては、定価販売は崩れています。希望価格というのは世間では当たり前で、新聞の定価販売というものは政府に癒着した結果、色々な動きの結果、定価販売が認められた。それで新聞は保護されている。政府が保護をすることで定価販売は認められている。スーパー等で売っている物は、だいたい希望価格販売。言いかたを変えると、新聞もとつくと値崩れを起こしているのだから、定価販売だけでも場所によってはタダでお分けします。定価販売という名のもとに値崩れを起こしているから定価は書かないんじゃないかなと思う。だからわざとそういう言いかたをしていまして、違っていたら直してくださいというものがあります。最初にそう思いました。

朝日新聞の一面を見た時に違和感がありました。マンション修繕が一面のトップです。それは一面トップに載るようなニュースなのかなと思います。下のほうに政府叩きがあり麻生さんを叩いていました。私は、朝日は政府を叩くという印象があります。右か左かといえば産経が右、朝日が左という印象をもっています。そういう感覚で買いました。そうしますと産経はどうなのかなと思えば、一面トップは相変わらず北朝鮮の話でした。「米朝首脳会談予断許さぬ非核化」それで見ると首脳会談で北朝鮮のよいしょをしているような感じがした。キム・ジョンウン氏の覚悟というイメージを与える見出しである書きかたが

何だこれと思った。

記者の劣化というものが先程の本の中にもありますが、記者の日本語の使いかたがだいぶ違ってきていると思いました。「したたか」という言葉があったけれども、したたかという表現がよくないと編集人の中にもあります。世の中に北朝鮮はしたたかな国家であるという表現が多いけれども、それは北朝鮮を擁護して持ち上げている発言で、したたかという言葉は肯定的な物の印象を摺り込むからよくないと書いてありました。同じ一面でも眺めかたが違うなと思います。

今日は両紙並べてみての比較になりました。朝日新聞一面の下に麻生氏がはめられたという発言を撤回したという見出しですけれど、これはテレビでこの場面を何回も流していました。テレビが強調していたものは麻生さんに対していろいろ質問をする人がいた。発言は個人としてと聞かれていたから個人の見解を話した。ここくれぐれも間違わないようにと言っていました。これは個人の見解だと力説して発言を紹介している。個人ということ強調していましたが、朝日も産経も新聞には個人としての発言を強調したことはどこにも書いてなかった。ただ撤回した。財務大臣としての発言が不適切である。麻生さんの重箱の隅をほじくるような質問ばかりして、この人達は何をしているのかとテレビを若干ですけれど見ました。それで新聞は重箱の隅をほじくった野党の肩ばかりもっているという印象でした。これはこういう記事を書いた記者。その新聞社の体質が見出しに出ている。メディアの体質が出ていることが、この一面の両紙の印象でございます。

朝日新聞は麻生さんを面白おかしく週刊誌的に叩いたものばかり書いてあるが、産経新聞は比較的細かく安倍首相が喋ったことが書いてあります。

その中でキム・ジョンウン氏が日本はなぜ直接私に拉致問題を解決したいといわないのかと紹介していました。日経新聞にも出ていました。比較的、日経は公平平等の書きかたをしています。日経の話が出たから三紙やりましょう。ちなみに朝日新聞は全部で 36 面までであった。その他に B と書いてあるのが入っていた。これは何だろう。

会員一別刷りです。

同じ紙面だと思えばいいですか。けっこう別刷りってありますね。朝日新聞の本刷りは 36 枚あって、そのうち全面広告が 6 枚。一面記事だけが 4 枚、それで記事と広告が 26 枚。産経は 28 面まであって、全面広告が 6 枚、記事だけが 6 枚で混合が 16 枚。産経新聞 110 円だけど全てが記事の部分は 6 枚ありました。朝日は 36 枚だけど記事だけが 4 枚ということで、だいぶ広告に依存しているなと思いました。日経新聞はもっと酷いと思っています。日経新聞は広告ばかりで記事は少ない。日経は全面広告が多すぎるし、広告代がべらぼうに高い。何を言いたいかというと、何で広告ばかり載せるのか。すべて記事だけにすれば良いと思うのですが、記事だけで買ってくれる読者を獲得すればよいと思います。そんな無茶なという話になるかもしれないけれど、今ある常識をひっくり返せばよい。そ

うすれば、成る程なということになる。

ついでに申し上げておきますと、朝日新聞で氣になったことは、北朝鮮に関して拘束していた 3 人のアメリカ人を解放したが、拉致された大学生が解放直後に死んだら、アメリカは北朝鮮への自国民の渡航は禁止したとさらっと書いてありました。

引っ掛かった物は「米朝会談 トランプ氏前のめり」で「劇場型演出大成功」朝日が北朝鮮に関してアメリカ危ないよというスタイル。こういうスタイルの物が目につきました。朝日が 3 面でキム・ジョンウン氏は韓国の文（ムン）大統領に対して、なぜ日本は直接私に問題提議をしないのかと語ったと書いてあります。でもこれ考えてみたら、北朝鮮は韓国に対して勝手に戦争を仕掛けた。戦争を仕掛けて攻め込んだけれども、各国が干渉したから休戦すると言った。韓国は休戦していません。休戦交渉に応じたのは北朝鮮だけ。韓国は応じていないにも関わらず、韓国は何で自分から仲良くしましょうというのか。一方的に攻め込まれて止めているだけで、まだ応戦状態にいるというのに何で仲直りをしましょうみたいにいるのか、馬鹿な話だと私は感じました。北朝鮮の話はこらへんにしておきますが、そうすると「過去の清算をおこなって」ということは、北朝鮮はもしかすると、祖父や父がやりかけて出来なかったものを達成できると踏んだからかなと感じています。

他を見ていたら、「もんじゅの経費 無駄な契約が」と書いてあります。産経のほうが大きく出ています。朝日は「もんじゅの経費 1 兆 1 千 300 円。無駄な契約、目標達成 16%」と書いてある。「高速炉開発再興を」という見出しですが、誰が責任を取るのかということ、どこにも書いてない。ただ政府がこの現実を直視してない。政府が悪いという書きかたが朝日です。産経新聞は「もんじゅ研究の達成度が 16%」ということですから、書いてある物は朝日と同じけども、違う形で再稼働に対して非常に危機感と書いてあります。両紙とも責任を取るのはどこだと一切書いてない。これは政府の立場を慮って書いているなという気がしますが、もう一度、東日本大震災と同じことが起きて、天候の状態、風向きが違っていたら、日本の中にその風が吹き続けていたら日本人はどうなるのか。あの時、もしも関東地方に風が吹いていたら、今頃日本人はどうなっていたのか、そこらへんが一言も出てない。それは一貫して書かれていない。似たような物が書いてあっても、ほんのちょっとしかない。黙殺されている。これは危険だなとつくづく思います。こらへんはもうちょっと大きな主張をしてよいと思いました。

北朝鮮絡みでシンガポール。米朝会談がなぜシンガポールなのかと産経には書いてあります。シンガポールはどこの国にも良い顔しているから。表現としては中立ということですよ。中国に対しても中立を保っている。どこに対しても中立性を保っているからという書きかたですけども、中立というのは、どこにも良い顔していますという表現。もうちょっと進めるとメガバンクの話があります。朝日新聞はメガバンクで、三菱 UFJ と三井住友が ATM の共通化を検討始めたと書いてあります。産経新聞は大手三行という書きかたになっています。三菱、三井、みずほ、大手三行が ATM の共通管理を進めていると小さく出ています。大きい記事は、新卒採用に関して脱銀行員と解説が出ています。これは産経がと

でも分かりやすい。今日の新聞を見ると、こんなの分かるかいと思うけれど「フィンテックの推進に向け、メガバンクはITの素養が高い人材の獲得を競っている」年寄りにこんな言葉がわかるかと思う。これはどの年代に向けて書いているのだろうか。どうでしょう。

西谷会員一書いている記者が何歳かによります。

そうだね。私が思っているフィンテックというのは、お金という考えかた・概念がガラッと変わる。もうキャッシュを持たない時代に入った。スマホをかざせばもう終わり。現金いらぬ・現金を持たせない時代、それがフィンテックだと思うけれども、言葉の解説をすればまた違う話になります。使う側からするとスマホで全部けりがつく時代。現金・銀行はいらぬ。だから銀行は今のやりかたを変えなさいという。こういうことが頭の中にあると、スマホでお金の支払いができる事業を推進することに合わせて、大きな銀行は人工知能を活用する能力を持っている学生を取ろうとしているとやればいいわけです。ということで、まあ文章が分からなくなってきたなと思いました。

ついでに最近わかりにくかったことは、保険のサービスで人工知能インシュアランスです。新しい生命保険で、健康に関する保険インシュアランスは、運動をして健康管理をしていったら若返ったことをスマホで調べて間違いなくこの人は肉体的に若返ったと思ったら掛け金を返します。その健康確保の努力に応じて返金することを保険会社が始めたそうです。

それから、どこでもお仕事ができるように1時間250円でこういうものが使い放題で使える場所。サービスをしないカフェが段々増えております。ネットカフェとはちょっと違うみたい。物によってはお金をちょっと払えばドリンクサービスがあるみたいです。

ロボットの話は少ししておきます。変なホテルに泊まりましたが、私の実感としては立っているロボットは看板倒れで、値段は宣伝してある倍を取っている。部屋に入って、大概どこのホテルもベッドに座るとベッドがポヨンと反発するのだけど、ドスンときた。机の上に薄っぺらいマットレスを敷いたようなベッドでした。コストカットが凄まじい。ただ、部屋に入ったらスマホが置いてあるだけでロボットはいないが、スマホが使い放題だからちょっと豪華。食べ物も小さいコッペパンにソーセージと言ったけど、ソーセージはちょっと豪華だなと思った。「ソーセージは何グラム」と聞いたら「250グラムです」とのことでした。ちょっと豪華な部分はありましたが、もう二度と泊まりたくないと思いました。

ホテルの入口にロボットが立ってはいましたが、チェックイン時にはタッチパネルで操作するだけですから話はできない。通じない人は電話でスタッフが対応しますと書いてある。それで他の人が電話をしているのを見ていたら、聞こえてくるのは紋切り型のテープ



が回っているだけで会話はできない。話がぼんと飛びますが、新生銀行に人から言われて普通預金を作ったことがあります。でも思ったことと違うので解約をしようと思い解約のための電話を自分で何回かけてもテープが回るだけ。テープが回るのに合わせて操作をしたけれども解約できない。仕方がないので店舗に行けばいいかと思って店舗に行ったら、店舗のタッチパネルでも解約できない。けっきょく新生銀行の普通預金は解約できないままで終わった。あれはそのまま放っておくと政府が没収するけれど、いくら解約をしようと思っても解約できなかつた。たぶん子供に言えば解約できたのかもしれないけれど、その時は私が強情を張って全部自分でやろうと思っていたけど、ついにできなかつたということ思い出しました。それで、このホテルは本当に老人排除のホテルである。老人お断りのホテルだということが分かりました。

朝6時30分に食事が食べられるかなと思って食堂に行ってみたら、男女ひとりずついて話しかけてみたら、ちゃんと言葉が通じたから良かった良かったと思って話をしました。それでレストランは直営ではなく外注でした。私を感じたことをそのままぶつけてみた。「ここはべらぼうなコストカットしているね」と言ったら、「どういう所を見てコストカットをしたと思われませんか」と言うから、「私は月の半分は外泊するけれども、ここは備品が何も置いてない。特に被害にあったからではなくコストカットをしようと思うから紙などは一切ない。部屋に備え付けてあってロボットかなと思って開けて見たらズボンプレスナーが置いてあった。こういうのがコストカットだ。こういうホテルは建築費にあまり金をかけてないから、オリンピックを狙って百件ぐらい建築しようとしているのでは」みたいな話をしたら、「そのとおりです」と。「でもオリンピックが終わったら不況になるからどうするのか」と聞いたら「このホテルは不動産投資でやっています」と。便の良し悪しではなく、安く手に入る土地があったら、買ったり借りたりしてホテルをつくってしまう。それでオリンピックが終わって不況になったら売り飛ばします。だから不動産投資の腰掛みたいな感じのホテルをつくって、それまでにこのホテルは稼ぐ。コストカットの内容についても自分達は泊まらないから分からない。

私が長崎のハウステンボスに行った時の「変なホテル」は、入口に恐竜や女の子のロボットがいて、荷物を運ぶロボット、荷物をしまってくれるクローク専門のロボットがいた。部屋に入ると喋る可愛いロボットがいて、可愛いロボットはたいして喋らなかつたけれど部屋の電気をつける。三つしか機能が無い。もうちょっとまじなロボットが部屋にあるだろうと思つたらなかつたが、今回泊まったホテルでは、ロボットが進化していたかと思つたら進化させてなくて、どこにでもあるものを掻き集めてきて、多店舗化をしているという感じがした。最初から安宿をつくって、倍の料金で荒稼ぎをしてオリンピックが終わったら売り飛ばす。イオンという会社がスーパーモールをつくったのは物が売れないから土地を買うなり借りるなりして不動産業に入ろうということと同じです。不動産業の衰隠しで、いや看板でスーパーを巨大化させると言ったことと発想が同じだと感じました。

ギネスに認定をされた世界初のロボットホテルという看板でやっていますけれども、確

かにハウステンボスのホテルはギネスに認定されるでしょう。でもその後は、看板に隠れて、まあよくこれだけいい加減な物をこしらえたものだと思います。

世の中に出ているものは、表面に出ている看板と中身と本音がどれだけ違うかをよく見る目を持つ必要がある。本音がどこにあるのか。判断の三原則である本質・歴史・大局の三つで見れば、だいたい見えてくる。本質は、歴史は、大局はで見れば変なホテルの中身が見えると、滔々と話をしていたら時間がおしてしまった。

陽明学ですから、興味を持ったら動く。行ってみたら思っていた期待とはまるっきり裏腹の本音が透けて見えることもある。だから今度は渋谷のロボットが入れるコーヒーを飲んできたいと思っています。アームだけかと思ったら、そうでもないそうです。

先ほど麻生さんの話をしたから少し付け加えておきますと、洪澤栄一の科白で、その時代の人物は次の人物を推薦していく。大久保利通は伊藤博文を推薦して引っ張り上げた。その伊藤は西園寺公望を推薦した。西園寺は原敬を推薦した。桂小五郎は山縣有朋を推薦した。大隈重信は加藤高明を推薦したというから、それぞれの人物は次の人物を推薦している。今の時代は、何で推薦しないのか。自分で自分を推薦していることは分かりますけど。ということ思い出したので申しあげました。

## テーマ「実行」

今日のテーマが「実行」ということですから、実行と基本哲学「知足」で話を申し上げます。

先ほど『けちのすすめ』少欲知足と紹介しましたが、これは「足るを知る」ということについて「少欲知足」と明確に出しています。少欲あるものは、すなわち涅槃あり。これを少欲と名づくという文章です。あれだこれだと分別するのも分別智、分別しないのを無分別智というけれど、それは般若の知恵でいうと、この少欲知足に書いてあります。ひろさちやさんは自分の言葉で語っているところが良い。天風先生も自分の言葉で語っていますが、読み始めると難しく硬い言葉で書いてある。天風先生の中で面白いと思うのは、日本ペイントの元社長で長谷川直蔵という人が、天風先生より10歳ほど年上だったけれども、天風先生が45歳の時に入会をしました。その長谷川さんが「先生もせめて60歳ぐらいにならなきゃ駄目だよ。本当に偉くならないよ」と。「どういうふうに偉くなるのか」と聞いたら「いくら女に惚れられても相手にしない。そうなったら先生も偉くなれるよ」と。「60歳ぐらいになると女に惚れられても相手にしない人間になるのかい」と聞いたら「なる。いくら気分がそうなくても体がいうこと利かなくなる。私はもう60歳に手が届こうとしているが、その気はあってもなかなか体が動かないから人様から見ると品行方正のよう

に見える。先生も今にそうなるよ」と、その時は45歳だから「60歳まで15年あるから、これから15年間はうんと楽しんでやれ」と。でも60歳になっても70歳になっても80歳になっても、そういう境地にならないから苦情を言いたいけれども長谷川さんはいないねと書いてあります。天風先生のこういう話が随所に入っている。だからついつい読んでしまいます。でも天風先生が自分で書いた物は硬く、論文は哲学風にしたような文章です。こちらの「少欲知足」のほうが分かりやすいです。これ全部煎じ詰めると、こういう表現だと思います。

『けちのすすめ』の中でいくと天風先生の科白と同じようなものがある。お腹が減ったら食べる。お腹がいっぱいになったら食べない。これも自然の欲です。またお腹が減ったら食べればいい。ではお金どうでしょう。ロックフェラーはお金があり過ぎて困るみたいな話をした。でもまだお金が欲しいってと書いてあります。お金ってどうですかね。今100万円あげるっていったら貰いますか？…そこですね。

お腹いっぱいなのに、人が奢るから山海珍味があるお店へ今すぐ行こうと言われたら行きますか？

普通はお腹いっぱいになったら食べないです。ところがお金は、なかなかそうはならない。

この間、テレビを見ていたら芸能関係の人の車庫に外車がずらっと並んでいる。自転車もオートバイも良い物がずらっと並んでいる。でも乗る人は一人。それで別荘が日本各地にあってヘリコプターであちこち移動して忙しい忙しいってところを流していました。住むとこ一つでいいじゃないのと思います。人間の欲には限りがないねという科白でございませう。

今ある物で満足しようということは、お腹いっぱいになったら終わり。またお腹が減ったらと、それを実践すればいい。

天地自然の欲望と本来もっている欲望と悪魔の欲望。もつともつという欲望どっちだろうねと考えて、悪魔の欲望は排除して自分の持っている人間本来の欲望だけを守りながら生きていったほうが良かないかいと、これは木内信胤先生がそういう言いかたで最終的には悟るがよいといっています。今回の天風先生の中の実効という部分は悟がよい。では悟りは何かと言ったら「十牛図」をよく考えて、よく読んでということで、今日の最後は悟がよい。

木内信胤先生は「私は悟ったよ」と言い残して亡くなられました。次の季刊誌『知足』はその木内先生の悟りについて解説を書かせていただきました。その解説は、木内信胤先生は一切そういう事を言われなかったので天風先生の悟りという順番に関して若干触れてございます。悟りをお互いに目指してみましよう。

有難うございました。